



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 五洋インテックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7519 URL <http://www.govointex.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大脇 功嗣  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)檀上 浜爾 (TEL) (0568)76-1050  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	686	△23.8	△105	—	△105	—	△148	—
30年3月期第2四半期	900	△11.8	△178	—	△212	—	△222	—

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 △147百万円(—%) 30年3月期第2四半期 △222百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△73.41	—
30年3月期第2四半期	△120.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	1,471	963	65.5
30年3月期	1,731	1,111	64.2

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 963百万円 30年3月期 1,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,720	△0.0	△90	—	△90	—	△140	—	△69.31

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年3月期2Q	20,203,174株	30年3月期	20,203,174株
31年3月期2Q	5,236株	30年3月期	4,370株
31年3月期2Q	2,019,810株	30年3月期2Q	1,842,850株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成30年10月1日付けで普通株式10株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期（当期）純利益及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
3. その他	12
(重要事象等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米国を中心とした貿易摩擦の強まりや人手不足の深刻化など先行きに対する不安要因はあるものの、堅調に推移した企業業績や雇用・所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調が見られました。当社グループを取り巻く事業環境は、室内装飾品関連(カーテン等)市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数は減少しております。

売上高は、室内装飾品関連では主に建設が減少しているマンションの業者への販売が振るわず減少となり、メディカル関連(平成29年7月に設立した子会社株式会社キュアリサーチが実施している先端医療検査に関わるサービス事業等)では順調に遺伝子検査の事務代行サービスの規模を拡大させておりますが、全体では、前年同四半期の売上高には及ばず、大幅な減少となりました。

利益面におきましては、特別損失として過年度決算訂正関連費用が発生したものの、販売費及び一般管理費において見本帳費及び販売促進費用等が減少したことから、損失は大幅に縮小しました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比23.8%減の686百万円、営業損失は105百万円(前年同四半期は178百万円の営業損失)、経常損失は105百万円(前年同四半期は212百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は148百万円(前年同四半期は222百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

第3四半期以降におきましては、メインブランドであります「サザンクロス」見本帳の大幅改訂による売上高の確保、メディカル関連におきましては、遺伝子検査の事務代行サービスのさらなる拡大やメディカルツーリズムサービスを稼働して収益拡大を目指してまいります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、新たに量的な重要性が増したメディカル関連を追加し、量的な重要性が乏しいIT関連を省略しております。

## (室内装飾品関連)

売上高は、主に建設が減少しているマンションの業者への販売が振るわず減少いたしました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比3.9%減の634百万円、営業損失は「インハウス」の見本帳費及び販売促進費用等の減少により82百万円(前年同四半期は108百万円の営業損失)となりました。

## (メディカル関連)

売上高は、主に遺伝子検査の事務代行サービスが堅調に推移したことから増加いたしました。

以上の結果、売上高は51百万円(前年同四半期の売上高はありませんでした。)、営業損失は23百万円(前年同四半期は7百万円の営業損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ294百万円減少して805百万円となりました。これは商品が15百万円増加したものの、現金及び預金が221百万円減少、受取手形及び売掛金が91百万円減少したことなどによります。固定資産は、34百万円増加して665百万円となりました。これは、建物及び構築物(純額)が35百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ260百万円減少し、1,471百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ95百万円減少して309百万円となりました。これは、短期借入金が56百万円減少、その他(未払金等)が22百万円減少、支払手形及び買掛金が22百万円減少したことなどによります。固定負債は、16百万円減少して198百万円となりました。これは、長期借入金が22百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ112百万円減少し、507百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ148百万円減少して963百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失が148百万円になったことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、現在のところ数値に変更はありません。今後、変更が生じる場合は、すみやかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	445,800	224,146
受取手形及び売掛金	292,636	200,678
商品	287,785	302,787
仕掛品	5,184	6,696
原材料及び貯蔵品	10,741	19,820
1年内回収予定の長期貸付金	20,000	20,000
その他	39,517	33,450
貸倒引当金	△1,611	△2,321
流動資産合計	1,100,053	805,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	150,869	186,769
機械装置及び運搬具(純額)	0	0
土地	289,500	289,500
リース資産(純額)	8,277	10,488
その他(純額)	12,297	19,890
有形固定資産合計	460,945	506,647
無形固定資産		
商標権	119	104
ソフトウェア	20,508	18,746
無形固定資産合計	20,628	18,851
投資その他の資産		
投資有価証券	26,497	27,058
長期貸付金	43,825	31,470
破産更生債権等	79,844	78,595
差入保証金	76,426	78,340
その他	2,901	3,679
貸倒引当金	△79,844	△78,813
投資その他の資産合計	149,651	140,331
固定資産合計	631,224	665,830
資産合計	1,731,278	1,471,088

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	127,700	105,355
短期借入金	56,000	-
1年内返済予定の長期借入金	86,952	95,224
リース債務	2,183	2,285
未払法人税等	15,724	9,528
未払消費税等	2,972	3,045
賞与引当金	11,200	13,850
その他	102,866	80,414
流動負債合計	405,600	309,703
固定負債		
長期借入金	149,391	126,809
リース債務	8,732	8,234
繰延税金負債	2,917	2,934
退職給付に係る負債	41,031	42,452
役員退職慰労引当金	5,324	5,324
資産除去債務	6,977	12,331
固定負債合計	214,373	198,086
負債合計	619,974	507,789
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,384,509	1,384,509
資本剰余金	697,805	697,805
利益剰余金	△978,819	△1,127,094
自己株式	△747	△1,020
株主資本合計	1,102,747	954,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,555	9,099
その他の包括利益累計額合計	8,555	9,099
純資産合計	1,111,303	963,298
負債純資産合計	1,731,278	1,471,088

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	900,856	686,190
売上原価	515,821	328,824
売上総利益	385,034	357,366
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	185,686	160,182
賞与引当金繰入額	14,529	13,447
賞与	-	1,587
貸倒引当金繰入額	△803	273
退職給付費用	3,947	3,986
業務委託費	29,875	21,238
賃借料	33,244	43,891
減価償却費	11,441	12,796
のれん償却額	1,813	-
その他	283,510	205,602
販売費及び一般管理費合計	563,246	463,006
営業損失(△)	△178,212	△105,640
営業外収益		
受取配当金	405	416
為替差益	97	243
貸倒引当金戻入額	-	595
その他	5,883	4,484
営業外収益合計	6,386	5,739
営業外費用		
支払利息	5,623	2,503
売上割引	321	408
持分法による投資損失	5,234	-
株式交付費	27,714	-
その他	1,297	2,735
営業外費用合計	40,191	5,647
経常損失(△)	△212,016	△105,547
特別損失		
固定資産除却損	299	774
過年度決算訂正関連費用	-	36,995
特別損失合計	299	37,770
税金等調整前四半期純損失(△)	△212,315	△143,318
法人税、住民税及び事業税	4,985	4,956
法人税等調整額	5,334	-
法人税等合計	10,320	4,956
四半期純損失(△)	△222,635	△148,275
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△222,635	△148,275



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純損失(△)	△222,635	△148,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	543
その他の包括利益合計	△25	543
四半期包括利益	△222,661	△147,731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△222,661	△147,731

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△212,315	△143,318
減価償却費	15,276	12,796
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△802	△321
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,694	2,650
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,730	1,420
受取利息及び受取配当金	△125	△1,125
支払利息及び社債利息	5,623	2,503
株式交付費	27,714	-
持分法による投資損益(△は益)	5,234	-
過年度決算訂正関連費用	-	36,995
のれん償却額	1,813	-
有形固定資産除却損	299	774
売上債権の増減額(△は増加)	225,171	92,254
たな卸資産の増減額(△は増加)	20,091	△25,592
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,031	△22,345
未払消費税等の増減額(△は減少)	△32,334	2,774
その他の資産の増減額(△は増加)	△21,400	△1,760
その他の負債の増減額(△は減少)	25,599	△18,235
小計	46,237	△60,530
利息及び配当金の受取額	121	1,123
利息の支払額	△5,143	△2,492
法人税等の支払額	△18,048	△15,607
過年度決算訂正関連費用の支払額	-	△36,995
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,167	△114,502
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△34,130	-
定期預金の払戻による収入	30,008	11,089
有形固定資産の取得による支出	△240	△51,111
無形固定資産の取得による支出	△56,541	-
貸付けによる支出	△33,000	-
貸付金の回収による収入	-	11,536
その他の収入	166	12,799
その他の支出	△46,760	△8,685
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,497	△24,371

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△40,500	△56,000
長期借入れによる収入	120,000	30,000
長期借入金の返済による支出	△77,457	△44,310
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△885	△1,108
自己株式の取得による支出	-	△273
株式の発行による収入	425,885	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	427,042	△71,692
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	309,712	△210,566
現金及び現金同等物の期首残高	257,858	422,600
現金及び現金同等物の四半期末残高	567,571	212,034

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内装飾品 関連	メディカル 関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	659,996	—	659,996	240,859	900,856
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	659,996	—	659,996	240,859	900,856
セグメント損失(△)	△108,069	△7,846	△115,915	△62,296	△178,212

(注)1 その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT関連等であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内装飾品 関連	メディカル 関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	634,300	51,889	686,190	—	686,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	634,300	51,889	686,190	—	686,190
セグメント損失(△)	△82,139	△23,501	△105,640	—	△105,640

(注)1 その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成29年7月に設立しました株式会社キュアリサーチの先端医療検査に関わるサービス事業について量的な重要性が増したため、新たな報告セグメント「メディカル関連」として、第1四半期連結会計期間より追加し、また、従来「IT関連」を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より、量的な重要性が乏しいことから「IT関連」の記載を省略しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

### 3. その他

(重要事象等)

当社グループは、前連結会計年度に引き続き当第2四半期連結累計期間においても、継続的に営業損失を計上するとともに、営業活動のキャッシュ・フローも当第2四半期連結累計期間において継続的にマイナスを計上いたしました。

当該状況を解消又は改善するための対応策について、室内装飾品関連はメインブランドであります「サザンクロス」見本帳の大幅改訂による売上高の確保を図り、メディカル関連におきましては、遺伝子検査の事務代行サービスのさらなる拡大やメディカルツーリズムサービスを稼働して収益拡大を目指してまいります。

上記対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。